

24熊大生命000113

平成24年 7月12日

国立大学法人動物実験施設協議会 会員校 殿

熊本大学生命資源研究・支援センター長

浦野 徹

(公印省略)

平成24年度実験動物関係教職員高度技術研修（ブタを用いた動物実験研究に関わる知識と技術の習得：飼養保管・麻酔及び術後ケア）の開催について（通知）

このことについて、大学等における実験動物関係職員の資質向上と教育・研究の発展を図るため、別紙要領により標記研修を実施します。

については、研修希望者がある場合は 平成24年8月31日（金）（必着）までに、別紙様式1，2により必要事項をご記入のうえ、下記宛先へメールの添付ファイルにてご提出願います。

なお、本通知は、従来の文部科学省研究振興局学術機関課からの通知に代わるものでありますので申し添えます。

【本件連絡先】

〒860-0811 熊本市中央区本荘2-2-1

熊本大学生命科学系事務ユニットセンター事務チーム 濱田

TEL 096-373-6637 FAX 096-373-6638

E-Mail : iys-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<別紙要領>

平成 24 年度実験動物関係教職員高度技術研修
【ブタを用いた動物実験研究に関わる知識と技術の習得
：飼養保管・麻酔及び術後ケア】実施要領

1. 目的

近年、ライフサイエンスの発展とともに、大学等における動物実験の重要性はますます高まり、動物実験の内容も高度化、先端化が進んできている。また、動物実験の適正化とともに動物福祉への対応も必要となってきた。

このため、大学等の実験動物関係者に対し、実験動物や動物実験に関する高度知識と技術を習得させるとともに、実務的課題に対する問題解決と自己開発能力の向上を図ることは極めて重要な課題であり、教育・研究の発展に不可欠のものである。

実験動物としてブタは教育・研究において不可欠な存在であり、また、従来のミニブタに加え、最近ではマイクロミニブタも作出される等、ブタを用いた研究の多様化も示唆されている。一方、ブタの飼育管理、麻酔導入、術中管理及び術後ケアでは大きな労力を要求され、これらに関して動物実験施設職員による教育・研究支援が必要とされる。本研修ではブタの飼養保管、感染症対策、取り扱い手技、鎮静・麻酔技術、術中の呼吸及び循環管理法、術後のケア術を習得し、ブタを用いた教育・研究への支援強化を図ることを目的とする。

2. 主催

- ・熊本大学生命資源研究・支援センター
- ・岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門
(企画：国立大学法人動物実験施設協議会)

3. 研修会場、期間、日程

- (1) 会場：岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門
(岡山大学鹿田キャンパス)
- (2) 期間：平成 24 年 10 月 23 日 (火) ～平成 24 年 10 月 26 日 (金)
- (3) 日程：別紙のとおり

4. 受講対象者及び受講予定者数

国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員及び非常勤職員を対象とする。

5. 受講予定者

10 名程度

6. 申し込み、決定

(1) 申し込み

各機関及び各施設の長は、希望者を別紙様式 (1, 2) により、平成 24 年 8 月 31 日 (金曜日) (必着) までに、熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦する。なお、希望者複数の場合は推薦順位を付すこと。

(2) 決定

熊本大学生命資源研究・支援センター長は、前項により推薦された者の中から研修生を決定し、各機関及び各施設の長に通知する。

7. 研修課題及び内容

(1) 研修課題

「ブタを用いた動物実験研究に関わる知識と技術の習得 - 飼養保管・麻酔及び術後ケア -」

(2) 研修内容

ブタ及びミニブタを用いた動物実験に関わる基本的な知識、倫理的概念を身につけるための講義と、研究支援に必要とされる取り扱い技術や麻酔導入・維持及び外科的手技習得、術後ケアのための実習を行う。内視鏡トレーニングに用いるブタの事前準備に関わる実習を行う。また、ブタを用いた医療機器開発の例及び、中型動物用の分子イメージング機器も紹介するとともに、ブタを用いた動物実験への技術職員としての研究支援について意見交換を行う。

8. 経費

研修料は無料とし、研修旅費は熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて負担する。

9. 修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

平成24年度実験動物関係教職員高度技術研修（ブタを用いた動物実験
支援に関わる知識と技術の取得:飼養保管・麻酔管理及び術後ケア）日程表（案）

期 間：平成24年10月23日（火曜日）～26日（金曜日）

会 場：岡山大学鹿田キャンパス
自然生命学研究支援センター動物資源部門鹿田施設

第1日目（10月23日・会場：動物資源部門鹿田施設セミナー室）

時間	内容	講師等
13:00 ～ 14:00	受付・指静脈登録	
14:00 ～ 14:20	開講式	松川昭博（岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門部門長 浅野雅秀（国立大学法人動物実験施設協議会会長）
14:20 ～ 14:50	岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門の施設紹介及び技術支援業務の取り組み	樫木勝巳
14:55 ～ 15:25	講義1 動物愛護管理法見直しの現状分析と今後の方向性	浦野徹
15:25 ～ 15:55	講義2 改正家畜伝染病予防法完全施行について	大沢一貴
15:55 ～ 16:10	休憩	
16:10 ～ 17:00	講義3 動物実験に必要なブタのに関する基礎知識（解剖、生理、習性等）	上村亮三
17:00 ～ 17:10	休憩	
17:10 ～ 18:10	講義4 ブタを用いた医療器具開発現場から	高橋広幸
18:15 ～ 20:15	懇親会（生協・子鹿ショップ）	

第2日目（10月24日・会場：動物資源部門鹿田施設セミナー室/中型動物実験室）

時間	内容	講師等
8:45 ～ 9:15	講義5 ブタの感染症-1	成田浩司
9:15 ～ 9:45	講義6 ブタの感染症-2	山本 博
9:45 ～ 10:15	講義7 麻酔・蘇生学の基礎	武田吉正
10:15 ～ 10:25	休憩	
10:25 ～ 11:05	講義8 ブタの飼育管理と動物福祉対策	末田輝子
11:05 ～ 12:25	講義9 ブタの麻酔及び麻酔モニタリング、覚醒、術後ケア、安楽死法、浣腸及び本日の実習内容説明	上村亮三・福山伸隆・能丸幸治・矢田範夫
12:25 ～ 13:25	昼食	
13:25 ～ 14:00	実習1 ブタ飼育室及び手術室見学、麻酔モニター等見学・機器の準備	
14:00 ～ 17:30	実習2 麻酔前準備（前投薬及び浣腸）・麻酔導入（気管挿管・静脈ラインの確保等）・頸静脈確保（デモ）	デモ（上村亮三・瀬戸山健太郎）
17:30 ～	実習3 麻酔覚醒・気管チューブ抜管	

第3日目（10月25日・会場：動物資源部門鹿田施設セミナー室/中型動物実験室）

時間	内容	講師等
8:45 ～ 9:30	講義10 おかやまメディカルイノベーションセンターにおけるイメージング研究 ～動物実験ツールとしてのPET解析～	佐々木崇了
9:30 ～ 10:00	講義11 おかやまメディカルイノベーションセンター施設見学	小野俊朗・佐々木崇了
10:00 ～ 10:15	休憩	
10:15 ～ 11:00	講義12 ミニブタの有用性	林 直木
11:00 ～ 11:45	講義13 本日の実習説明・実習準備（兼前日の復習）麻酔モニター等機器の準備	縦木勝巳
11:45 ～ 13:00	昼食	
13:00 ～ 14:30	実習4 麻酔前準備（前投薬及び浣腸）	
14:30 ～ 16:00	実習5 麻酔導入（気管挿管・耳介静脈ラインの確保等）無菌操作等	
16:00 ～ 17:30	実習6 外科処置実習（脾臓摘出）	瀬戸山健太郎・平山晴子
17:30 ～	実習7 麻酔覚醒開始・術後処置	末田輝子・矢田範夫

第4日目（10月26日・会場：動物資源部門鹿田施設セミナー室）

時間	内容	講師等
8:45 ～ 9:30	実習8 術後処置（経過観察）	末田輝子他
9:30 ～ 10:00	講義14 ブタを用いた実習内容の復習と重要事項の確認	縦木勝巳他
10:00 ～ 10:30	アンケート記入	
10:30 ～ 11:00	施設見学	岡山大学 技術職員一同
11:00 ～ 11:40	閉校式 修了証授与式、写真撮影→解散	

講師等（発表順・敬称略）

- 浅野 雅秀 国立大学法人動物実験施設協議会会長・金沢大学学際科学実験センター遺伝子改変動物分野（実験動物施設） 教授
- 浦野 徹 熊本大学生命資源研究・支援センター センター長 教授
- 大沢 一貴 長崎大学先導生命科学研究支援センター 比較動物医学分野 教授
- 上村 亮三 鹿児島大学自然科学教育研究支援センター動物実験施設 准教授
- 高橋 広幸 ナカシマメディカル（株）営業部営業推進グループ
- 成田 浩治 弘前大学大学院医学研究科附属動物実験施設 助教
- 山本 博 富山大学生命科学先端研究センター 動物資源開発分野 准教授
- 武田 吉正 岡山大学病院集中治療部 准教授
- 末田 輝子 東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設 職員
- 福山 伸隆 鹿児島大学自然科学教育研究支援センター動物実験施設 技術専門職員
- 能丸 幸治 名古屋大学大学院医学研究科附属動物実験施設 技術職員
- 瀬戸山健太郎 鹿児島大学自然科学教育研究支援センター動物実験施設 助教
- 佐々木 崇了 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産学官連携センター 助教
- 小野 俊朗 岡山大学自然生命科学研究支援センター光・放射線情報解析部門 准教授
- 林 直木 オリエンタル酵母工業株式会社バイオ事業本部ライフサイエンス部
（開催施設）
- 松川 昭博 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門 部門長・大学院医歯薬学総合研究科 教授
- 縦木 勝巳 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門 准教授
- 平山 晴子 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門 助教
- 矢田 範夫 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門 技術専門職員